

各位

2023年3月23日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 竹内 在

【セレンディップHD】、ツクルバ社・note 社らと共に合計 31 社で「IR マガジン」創刊

企業の枠を超えた共創 IR で投資家に IR 記事を届ける新しい試み



The graphic features the title "IR マガジン" in large black characters with a small "創刊" (Launch) box to its right. Below the title is a grid of 31 company logos, including TSUKURUBA, no+e, アス企画設計, adish, Appirits, airCloset, SEVEN&EIGHT GODO SPEED, GladCube, SpiderPlus & Co., スマレジ, SERENDIP HOLDINGS, TSUNAGU GROUP, TOBILA SYSTEMS, CREATE, PLAID, フォーカシング・システムズ, Members, Lancers, Landix, Leadstar Capital, C/NC, Enjin, FINATEXT HOLDINGS, GameWith, GA TECHNOLOGIES, HENNGE, HYUGA PRIMARY CARE, JDSC, and THECOO. At the bottom right of the grid, the text "投資家にIR記事を届けるメディア" is written in a stylized font.

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 竹内 在以下、当社）は、2023年3月23日、株式会社ツクルバ・note 株式会社を中心となって立ち上げた下記「IR マガジン」企画に参画し、合計 31 社の上場企業と共に IR マガジンを創刊しましたのでお知らせいたします。

投資家のみなさまは、ぜひこちら (<https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b>) から IR マガジンをフォローいただけますと幸いです。

■ IR マガジンの背景

日本政府は「資産所得倍増プラン※」を掲げ、将来的に個人の金融資産を増やすために、国民の資産を「貯蓄から投資へ」という方向にシフトする金融政策を進めています。たとえば NISA 制度の拡充など、個人が投資に参加しやすくなるように取り組まれています。

2022年4月には、日本の株式市場の魅力を高めて海外からの投資を呼び込むために、東京証券取引所の市場再編が行われました。これに伴い、企業には、国内外の機関投資家や個人投資家との相互理解を深めて建設的な対話を促進するために、情報開示の充実や積極的な IR 活動の推進が求められています。

これまでの IR 活動では決算情報等の適時開示や説明会の開催といった活動が中心でしたが、このような流れを受け、より幅広い情報をわかりやすく届けるため、note を活用した IR 情報発信を行う企業が増えてきています。

今回、投資家のみなさまとの IR コミュニケーションの向上を図る 上場企業 31 社が、共同でメディアプラットフォーム note 上に IR マガジンを創刊しました。投資家の皆さまに、参加企業の IR 情報をよりスピーディーにお届けし、投資判断に役立てていただくことを目的としています。

※資産所得倍増プラン：内閣に設置された「資本主義実現会議」にて 2022 年 11 月 28 日に決定したプラン。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/pdf/dabiplan2022.pdf

■ IR マガジンのねらい

IR マガジンは、企業の枠を超えた共創により投資家のみなさまに IR 記事を届ける新しい試みです。投資家の方は、IR マガジンをフォローすることで IR マガジン参加企業の IR 記事の掲載通知を受け取る事ができ、いち早く IR 記事を読むことができるようになります。これにより、IR マガジン参加企業は、他の企業に関心を持つ投資家を含めて、より多くの投資家に IR 記事を届ける事が可能になります。

■ IR マガジンの閲覧を希望される投資家のみなさまへ

IR マガジンの閲覧を希望される投資家のみなさまは、ぜひ下記 URL から IR マガジンをフォローください。

<https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b>

■ IR マガジンの参加企業（合計 31 社）

IR マガジンの参加企業は以下のとおりです（順不同。各参加企業の「株式会社」省略）。

ツクルバ（東証：2978）

note（東証：5243）

アズ企画設計（東証：3490）

アディッシュ（東証：7093）

アピリッツ（東証：4174）

エアークローゼット（東証：9557）

グッドスピード（東証：7676）

グラッドキューブ（東証：9561）

スパイダープラス（東証：4192）

スマレジ（東証：4431）

セレンディップ・ホールディングス（東証：7318）

ツナググループ・ホールディングス（東証：6551）

トビラシシステムズ（東証：4441）
日本情報クリエイト（東証：4054）
プレイド（東証：4165）
ブロードエンタープライズ（東証：4415）
メンバーズ（東証：2130）
ランサーズ（東証：4484）
ランディックス（東証：2981）
ロードスターキャピタル（東証：3482）
CINC（東証：4378）
Enjin（東証：7370）
Finatext ホールディングス（東証：4419）
GameWith（東証：6552）
GA technologies（東証：3491）
HENNGE（東証：4475）
HYUGA PRIMARY CARE（東証：7133）
JDSC（東証：4418）
Recovery International（東証：9214）
ROBOT PAYMENT（東証：4374）
THECOO（東証：4255）

■ IR マガジンの企画・運営

IR マガジンは、株式会社ツクルバが発案し、note 株式会社と共に中心となって立ち上げた新しい企画です。今後は、メディアプラットフォームを提供する note 社が中心となり、IR マガジンの運営を行ってまいります。

■ IR マガジンへの参加を希望される企業の方へ

IR マガジンでは、参加企業を募集しています。参加をご希望の企業様は下記にお問い合わせください。

<https://note-ir.zendesk.com/hc/ja/requests/new>（note 株式会社 IR お問い合わせ窓口）

当社は、今後も、IR マガジンを含めた“note で IR”の活用等の積極的な IR 活動により、投資家のみなさまとの IR コミュニケーションの向上を行ってまいります。

<noteについて>

note はクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合っ、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービス開始し、約3,000万件の作品が誕生。会員数は585万人（2022年11月時点）に達しています。

●URL : <https://note.com/>

●iOS アプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>

●Android アプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

<セレンディップ・ホールディングスについて>

当社は、日本の中堅・中小製造業に特化して事業承継・経営の近代化を支援している事業投資会社です。投資先にプロ経営者を派遣し、ハンズオン型の経営支援を行うことで、投資先がものづくりに専念し、再成長できる環境整備を行っています。

会社名：セレンディップ・ホールディングス株式会社（東証グロース 証券コード：7318）

所在地：愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号

代表者：代表取締役社長 竹内 在

設立：2006年8月

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

ホームページ : <https://www.serendip-c.com/>

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当 川上

E-mail: information@serendip-c.com